



ソフィアメディ 活動レポート 2026

2025.04 ▶ 2026.03

 訪問看護のソフィアメディ
Sophiamedi

Sophiamedi
To develop our wisdom
to bring for life









CONTENTS

06 ソフィアメディのご紹介

07 代表メッセージ

テーマ1

08 あらゆる在宅療養ニーズに応える

10 品質向上の取り組み

11 支援機能の拡大

12 お客様事例 01

テーマ2

14 医療依存度の高い方を支える

15 終末期ケア

16 お客様事例 02

17 お客様満足度調査

18 事業所一覧

報告対象期間：2025年4月～2026年3月

望む場所で、その方らしく。 多様な選択を支える 在宅療養環境の実現へ

一人ひとりの生き方や療養の希望が異なる中、安心であたたかな在宅療養を日本中にゆきわたらせ、望む暮らしの実現に貢献する。そのために、訪問看護を軸にさまざまなサービスを提供しています。

Vision 私たちが目指す未来

安心であたたかな在宅療養を
日本中にゆきわたらせ、
ひとりでも多くの方に、
ここから満たされた人生を。

Mission 私たちの使命

英知を尽くして「生きる」を看る。

訪問看護

年齢や疾患を問わず、
医療的ケアから日常生活
の支援まで、24時間365
日対応しています

居宅介護支援

11カ所^{*}の訪問看護ステーショ
ンに併設。医療職と連携しなが
らケアプランを作成します

^{*}2026年10月時点

暮らし・人生へ

在宅療養を起点に、暮らし
からその先までお客様とご家
族を支えます

エンディング サポート

お看取り後のご家族を支える
ため、必要な手続きや手配をサ
ポートしています

在宅治験^{*} (Home nursing)

訪問看護師が参加者の自宅等
を訪問するDCTで、新薬開発や
臨床研究に貢献します

^{*}当社呼称

訪問看護向け 経営支援サービス

創業から培った経営ノウハ
ウやAI活用で、訪問看護ステー
ションの運営を支援します

医療・社会へ

訪問看護で培った経験を生か
し、医療・介護の進歩と社会の
発展に貢献します

見学・研修 プログラム

患者様目線の商品・医薬品開
発に向け、訪問看護の見学・研
修を提供しています



在宅療養に向き合い続けて24年。
ケアの可能性を、一つひとつ形に。

2002

2021

2026



直近5年の変化（2020年度▶2025年度）

お客様数

9,290人

14,801人

お客様満足度調査

NPS*
13.6

28.2

支援の拡大

居宅介護支援

エンディング
サポート

在宅治験

365日体制の事業所

22カ所

90カ所

*「ソフィアメディを友人や家族に勧めたいと思いますか?」という設問に対し、9～10点を「推奨者」、7～8点を「中立者」、0～6点を「批判者」とし、推奨者の割合から批判者の割合を引いた数値

代表メッセージ

在宅療養のこれからを見据え
果たすべき役割を問い、進化を続ける

2002年の創業以来、地域の皆さまとともに一人おひとりの在宅療養に向き合ってきました。直近5年は、365日体制の拡充や支援領域の拡大など、多様なニーズにより広くより確かに応えられるよう、その歩みを加速させています。

一方で、在宅療養を取り巻く環境は変わり続けています。医療・看護ニーズの高度化への対応はもちろん、地域との連携による包括的な支援、一人ひとりのご希望に応える多様な選択肢の創出など、必要なケアや仕組みを形にする。その積み重ねで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現に寄与していきたいと考えています。



代表取締役
伊藤 綾

一人ひとり異なる「生きる」を見る。

年齢や疾患、状態を問わず あらゆる在宅療養を支える

小児から後期高齢者まで、疾患や状態を問わず、14,000名を超えるお客様の在宅療養を支えています。それぞれの異なるニーズに応えるため、専門性と体制の充実化を図っています。

お客様数

14,801人

2024 : 14,267人

多様なケースを支えてきた経験を、
一人ひとりのケアへ

これまで多くの方にケアを提供してきた経験を生かし、望む療養や取り巻く環境、ご家族のご希望をふまえ、その人に合ったケアを提供します。

01 多職種でケアを組み立てる

看護師と理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が、それぞれの専門性を活かし、多角的な視点でケアを考えます。

02 専門的なニーズにも応える

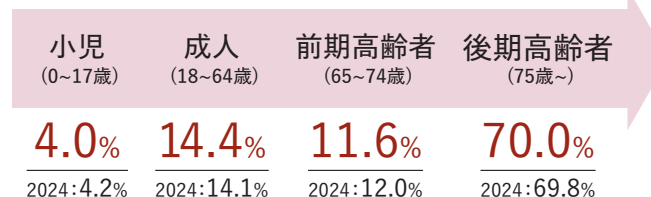
24時間365日体制や専門性の強化に取り組み、精神疾患や小児の方、中重度の方など、多様なニーズに対応しています。

03 地域と連携して支える

医師やケアマネジャーなど関係機関と密に連携。緊急時も多職種で迅速に対応し、安定した在宅療養を支えます。

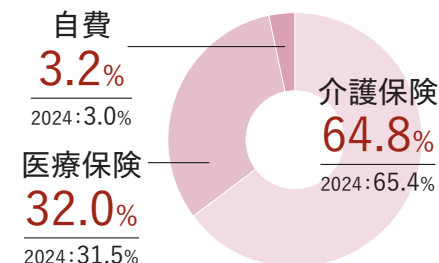
年齢

あらゆる世代の方を支える



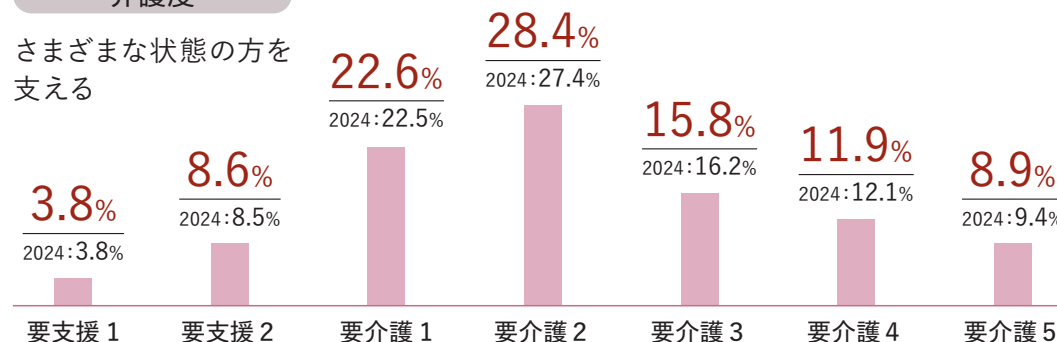
利用保険

介護・医療に加え、
保険の枠を超えた支援も実施



介護度

さまざまな状態の方を
支える



✓ PICK UP 高い専門性が求められる領域にも
受け皿を広げる

精神科訪問看護

お客様数

1,207人

2024:1,102人

算定スタッフ数

1,325人

2024:1,105人

小児訪問看護

お客様数

608人

2024:607人



責任者メッセージ

地域から寄せられるニーズにより広く応えられる体制へ

2025年度は新たに6カ所の訪問看護ステーション（北海道1、東京都1、愛知県2、福岡県2）を開設いたしました。近年、医療依存度の高い方や独居の方が、住み慣れたご自宅での療養を希望されるケースが増加しています。こうした背景を受け、私たちは年齢や疾患を問わず、あらゆる方に多職種連携を軸とした質の高いケアを提供できるよう、専門性の強化や地域連携に取り組んできました。

これからも各地域の多様なニーズに広く応えられるよう、また、地域の医療インフラとして機能できるよう、力を尽くしてまいります。



事業本部
第一事業部長
信田 明

新規開設
ステーション

6カ所
2024:0カ所

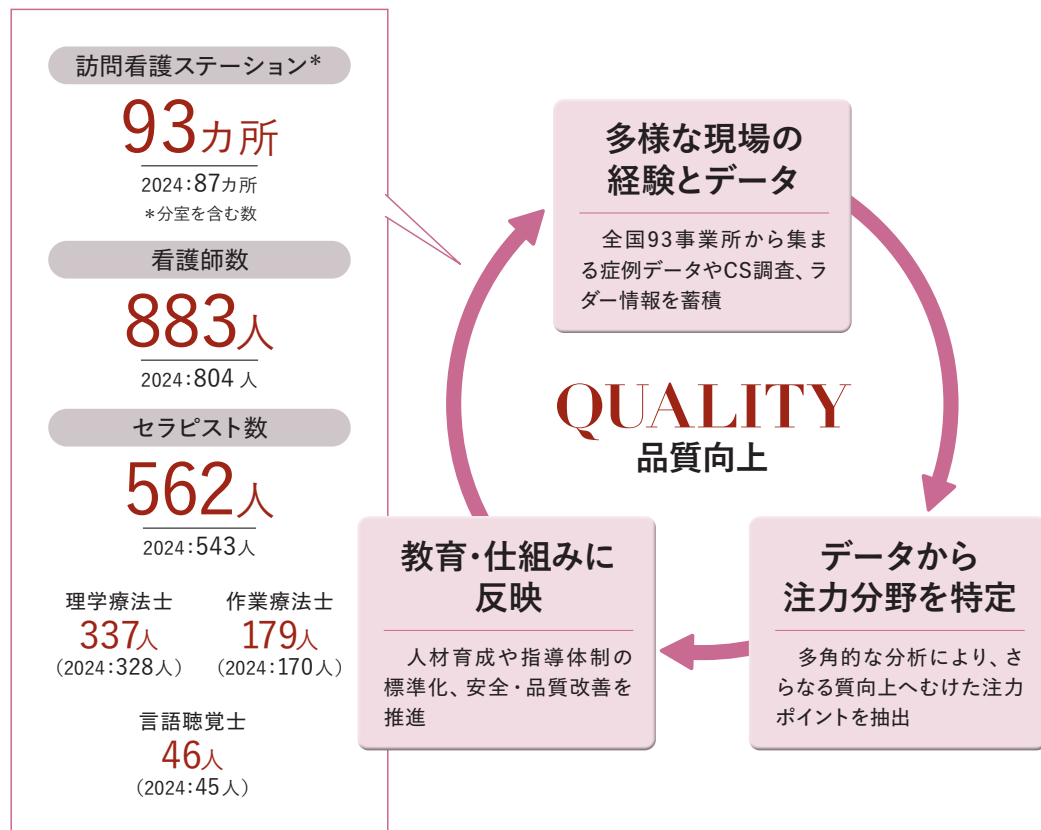
のべ
総ケア時間

1,240,531時間
2024:1,197,564時間

品質向上の取り組み

その方らしい在宅療養を支えるため、 組織の力を活かし、品質を高め続ける

年齢・状態を問わずあらゆる方の在宅療養を支えるには、お客様一人ひとりの多様なニーズを的確にとらえ、適切なケアを提供できる技術と知識が必要です。そのために、全国の事業所からデータや知見を収集し、品質向上の施策へと還元させています。



取り組み 01

専門職から管理者まで、 育成基準を明確化

どの事業所でも高品質なケアを届けるため、専門職の育成基準を体系化。在宅領域でのリハビリなど、業界指標が少ない領域は独自の指標を開発。技術チェックや昇格基準と連動させ、スタッフ一人ひとりの成長を支援しています。

看護師リーダー

セラピストリーダー

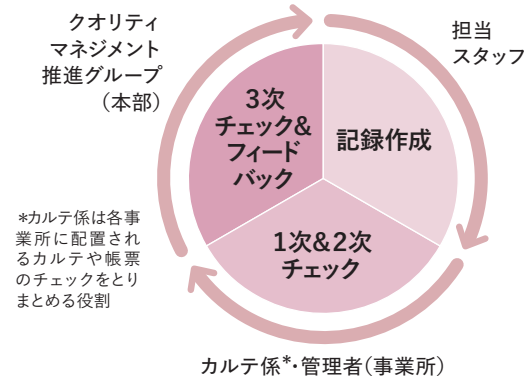
マネジメントリーダー

取り組み 02

アセスメントと 記録の標準化

根拠に基づく適切な介入のため、アセスメントと医療記録の標準化を推進。指示、計画、実践、結果が連動するようカルテ係・管理者・本部による3段階チェックを行い、全事業所で記録の適正化と品質向上を徹底しています。

■ 3段階でのチェック体制



責任者コメント

多様な現場から得られる知見を 次のケアの品質へ

近年、リハビリから緩和ケアまで在宅療養へのご要望は多様化しています。これらに応えるため、専門性の高い知識や技術を全社で標準化し、担当者に依存せず質の高いケアを提供できる体制を整えています。さらに医療安全による事故防止や災害対策も徹底し、常に安全確保を最優先とした対応を推進しています。今後も地域へ高品質なケアを届けられる体制をさらに強化していきます。



クオリティマネジメント推進グループ
マネジャー / 看護師
川田 雅子

支援機能

地域連携を基盤に、 療養を支える機能を広げる

お客様のよりよい療養生活のために、地域の皆様と連携し、一つのチームとして在宅療養を支えることを大切にしています。また、居宅介護支援事業所の併設や自費サービスの提供を通じて、お客様の暮らしを支える選択肢を広げています。

地域と連携する

連携医療機関*1

4,995カ所

2024:4,593カ所

連携事業所数（居宅介護支援事業所）*2

3,758カ所

2024:3,432カ所

*1 訪問看護指示書の
発行元医療機関数

*2 お客様の担当
ケアマネジャー数

ケアマネジメント機能を広げる

居宅介護支援事業所数

9カ所

2024:7カ所

ケアマネジャー数

20人

2024:19人

一部の訪問看護ステーションに居宅介護支援事業所を併設。多職種・地域と連携し、退院後の在宅療養を包括的に支える体制を強化しています。

制度の枠を超え支援する自費サービス

受診同行や
イベント参加
など
外出支援

長時間の
看護

高価値
リハビリ
テーション

保険制度では対応が難しい個別のニーズにもお応えできるよう、自費サービスを提供しています。専門職による外出同行や長時間の療養支援など、さらなる選択肢を提供します。



「生きる」を見るストーリー

Case 01

「大好きな美容院にまた立ちたい」 多職種チームが一丸となり叶えた、ご夫婦の在宅生活

夫様：認知症 / 80代 / 要介護1 / 介護保険

妻様：リウマチ性多発筋痛症 / 80代 / 要介護4 / 介護保険

背景・ご要望

認知症に伴う生活課題や体調変化により在宅生活の継続が懸念される中、夫様は「自宅で二人揃って元通りに暮らしたい」、妻様は「再び美容室の仕事に立ちたい」という思いを持たれていました。

体制

- ケアマネジャー
- 看護師（週1回）
- 理学療法士（妻様のみ週2回）

提供内容

ケアマネジメント：訪問診療・訪問看護・ヘルパー・生活環境の整備・配食等の他職種調整、サービス計画の見直し など
看護：全身状態の観察、痛みのコントロール、傷の処置、服薬管理、家族支援 など
リハビリ：身体機能の維持・向上、立位・歩行訓練、動作指導 など

医療と介護のタイムリーな連携による 地域一体での生活支援

介入当初は、夫様の認知症による支援拒否や衛生環境の悪化、急な転倒・大出血、妻様の入院など、複雑な課題が絡み合っていました。そこで、ケアプランと訪問看護が初回から同行訪問を行い、その後もケアやリハビリ、往診に可能な限り同行。医療・介護の双方から状況を把握し、写真や動画を添えて速やかに情報共有してきました。大きな変化があった際には対面でも協議し、状況に応じた支援へ迅速につなげています。

こうした連携をもとに、ケアマネジャーは主治医やヘルパー、配食事業者と密に連絡を取り合い、ご夫婦の生活リズムに合わせて必要なサービスの一つひとつ丁寧に調整。看護師による痛みのコントロールや服薬管理に加え、妻様に対しては理学療法士によるベッド上での訓練や歩行訓練を重ねた結果、再び美容院の店台でお客様を迎えられるまでに回復されました。



担当スタッフより

ケアプラン大垣 ケアマネジャー 田島 梨沙

認知症を抱えさまざまな課題がある中で、ご夫婦が安心して医療や介護を受け入れられる環境づくりに努めました。訪問看護からの助言をもとに訪問時間を細かく調整し、往診にも同席するなど、医療・介護の関係者と連携しながら、その時々状況に合わせて支援を組み立てました。妻様が再び美容室を開けるまでになったことを、とても嬉しく思います。



担当スタッフより

ステーション大垣 看護師 白井 実佳

医療と介護という領域を越え、地域の支援チーム全体で同じ目標に向かうため、即時の情報共有を徹底しました。ヘルパーや配食業者ともスムーズに連携できるよう連絡窓口を明確にし、別居されているご親族とも対話を重ねました。社内にとどまらず、地域のケアマネジャーや関係機関の方とも、タイムリーな情報共有や密な連携を心掛けています。





どんな方も、望む場所でその人らしく。

専門性とケアの質を高め 医療依存度の高い方を支える

近年、重度の方も在宅療養を選択されるケースが増えており、24時間365日体制の拡充や専門・認定看護師による活動を通じて、どんな方も安心してご利用いただける体制を整えています。

医療依存度の高い方の受入れ

別表7*に該当する
お客様数

1,821人

2024:1,809人

別表8*に該当する
お客様数

2,472人

2024:2,385人

特別管理加算
算定数

28,008件

2024:27,186件

*別表7とは厚生労働大臣が定める、医療保険による訪問看護が可能な疾病の一覧。別表7が「疾病」であるのに対し、別表8は厚生労働大臣が定める「状態等」の一覧

24時間・365日体制

365日の定期訪問を
実施している事業所数

90カ所

2024:83カ所

緊急・24時間対応
加算契約率*

69.6%

2024:63.5%

夜間緊急
訪問件数

6,727件

2024:6,972件

年末年始
訪問件数

8,153件

2024:8,950件

*お客様のうち緊急契約をしている方の割合（「緊急時訪問看護加算」または「24時間対応体制加算」）

取り組み
01

専門・認定看護師 による専門性強化

中重度のお客様への対応力を高めるため、専門・認定看護師による全社への研修やマニュアル整備はもちろん、事業所ごとに直接、訪問同行やケア指導を行う仕組みを導入しています。

中重度対応力チェック

看護師・セラピスト全スタッフを対象に、100項目以上の独自指標で中重度対応力を可視化

強化するポイントを特定

可視化された対応力を分析し、各事業所の強みや伸ばすべきポイントを明確化

専門・認定看護師による

全体の品質底上げ

注力分野に対し専門・認定看護師による研修やマニュアルを作成し、全社的に品質を底上げ

個別支援

専門・認定看護師が直接事業所へ介入し、同行訪問や臨床カンファレンス、手技確認などを通じて支援

専門・認定
看護師数*

30名

2024:33名

*今年度より、集計基準を活動人数から在籍人数（年度末時点）に変更しました。

資格分野

- 感染症看護
- 老人看護
- 災害看護
- 慢性疾患看護

認定看護師

- がん性疼痛看護
- クリティカルケア
- 緩和ケア
- 集中ケア
- 摂食・嚥下障害看護（A課程）
- 認知症看護
- 皮膚・排泄ケア
- 訪問看護
- 感染管理
- 糖尿病看護

特定行為修了
看護師数*

13名

2024:11名

取り組み
02

セラピストによる 喀痰吸引技術の標準化

喀痰吸引を必要とするお客様の増加に伴い、看護師だけでなくセラピストも対応できるよう、実技研修と手技確認を徹底。安全な手技を習得したセラピストを育成しています。

喀痰吸引の知識を
習得したセラピスト*

82.2%

*口腔・鼻腔等の喀痰吸引に関するリスク管理・知識を習得したセラピストの割合

☑ PICK UP 緩和ケア

ご本人の意思を尊重しながら
ご家族まで支えられるように

「最期まで住み慣れた場所で自分らしく」という思いに寄り添うため、認定看護師を中心に緩和ケアの充実化を図っています。その一貫として、終末期に予想されるお身体の変化や必要な医療処置をまとめたご家族向けパンフレットを作成。ご家族が少しでも穏やかに過ごせるよう支援しています。



▲終末期を支える
ご家族向けパンフレット

在宅看取り率*

61.7%

2024:63.2%

*自宅・施設でご逝去された方の数/死亡者数

ターミナルケア加算
算定件数

773件

2024:917件

エンゼルケア
実施数

847件

2024:1,054件

旅立ちを見守るご家族に寄り添う エンディングサポート

お客様をお見送りされるご家族が、安心してお看取りを迎え、後悔なくその後の人生を歩んでいけるよう、お看取り前後に必要な各種届け出や手配をサポートしています。

サポート内容

- 終活・意思決定のご支援
- お看取り後の手続きに関する情報提供
- 葬儀社のご紹介



▲お看取り後の
手続き・届出サポート BOOK



「生きる」を見るストーリー

Case 02

「家でお酒を楽しみ、自分らしく暮らしたい」 多職種連携と密な家族支援で叶える在宅療養

筋ジストロフィー / 60代 / 要介護3 / 医療保険

背景・ご要望

妻様と二人暮らし。「絶対に入院したくない」「家でお酒やネットを楽しみながら夫婦仲良く暮らしたい」と希望されています。

訪問体制

看護師（週4回）
理学療法士（週2回）
作業療法士（週1回）
言語聴覚士（週3回）

ケア内容

看護：全身状態の観察、服薬管理、夜間HOT（酸素）管理、皮膚状態観察・軟膏塗布、水分・食事摂取量の確認、家族支援 など

リハビリ：身体機能の維持、嚥下機能の評価・予防的介入 など

「絶対に入院したくない」 ご本人の思いと、ご夫婦の間を取り持つ 多職種でのケア

「家でお酒を飲み、好きなネットを見て過ごしたい」という思いから在宅療養を選択されています。夜間の酸素吸入が欠かせず、時には狭心症のような発作による緊急対応も必要とされるなど、常に状態変化のリスクと隣り合わせにあるため、看護師による専門的な全身状態の観察に加え、言語聴覚士は好きなお酒を飲み続けられるように嚥下機能の維持向上、理学療法士は機能低下に対する予防的介入を行っています。またそれぞれの職種が多角的にアセスメントしこまめに連携することで、急変を未然に防ぎ、在宅療養を長期的に継続できるよう努めています。

一方、妻様のご不安を一人で抱え込まないよう、緊急電話でいつでも連絡できる環境を整えるほか、ご夫婦が円滑に会話できるよう間を取り持っています。



お客様からの声

自力での通院が困難になっていたため、良いタイミングで訪問看護を開始できて良かったです。（ご本人様） スタッフの方は良い人ばかりで本当に助かっています。以前、夜中に調子が悪くなった際にも駆けつけてくださり本当に感謝しています。（妻様）

担当スタッフより ステーション福岡西 管理者／摂食・嚥下障害看護 認定看護師 山口 美香子

現在は嚥下機能に大きな問題はありませんが、ご自宅で大好きなお酒を楽しんでいただけるよう、予防的な呼吸法や水分摂取時の注意点、口腔ケアのアドバイスを行っています。今後ともご自宅での生活を満喫できるよう、継続してサポートしてまいります。



お客様満足度調査

お客様の声やご要望に向き合い、より質の高いサービスを提供するため、毎年お客様満足度調査を実施しています。2025年度より居宅介護支援にも対象を拡大。調査結果は品質向上・人材育成の専門部署を中心に分析し、より良いケアへの取り組みを進めています。

訪問看護

回答者数: 8,036名
(2024: 7,066名)

NPS*

ソフィアメディ訪問看護ステーションを
友人や家族に勧めたいと思う

28.2

2024: 25.2

お客様に合った
看護・リハビリをして
くれていると感じる

84.8%

2024 84.4%

主治医・ケアマネ・
ヘルパー等の関係者と
十分に情報共有して
くれていると感じる

79.3%

2024 78.0%

困っていることや
不安に感じている
ことについて、
私に合った対応を
してくれていると感じる

83.9%

2024 84.7%

療養生活のために
必要な看護・リハビリ
の内容について
分かりやすく説明して
くれていると感じる

80.4%

2024 83.2%

居宅介護支援

回答者数: 383名

NPS*

ソフィアメディケアプランを
友人や家族に勧めたいと思う

36.9

療養生活の方針を
共に考える時間を
つくってくれていると
感じる

77.7%

主治医や
利用しているサービス
の関係者と十分に
情報共有して
くれていると感じる

79.5%

困っていることや
不安に感じている
ことについて
私に合った対応を
してくれていると感じる

87.4%

介護保険制度と
在宅サービス内容に
ついて分かりやすく
説明してくれていると
感じる

77.1%

*9~10点を付けた方を「推奨者」、7~8点を「中立者」、0~6点を「批判者」と分類し、回答者全体に占める推奨者の割合(%)から、批判者の割合(%)を引いた数値



事業本部
第二事業部長
羽田 真博

品質と提供価値を高め続け、 社会から求められる医療・介護ニーズを満たす

お客様満足度調査では訪問看護事業で8,036名、今回より新たに調査を開始した居宅介護支援事業で383名と非常に多くの方々から貴重なご意見を賜りました。心より感謝申し上げます。訪問看護事業のNPSは昨対比3.0ポイント増の28.2へと向上し、居宅介護支援事業でも36.9という評価をいただきました。一方で、「日々の接遇」

や「ケア内容の分かりやすい説明」「お客様に合った対応」などの項目において、一部評価の低下が見られたことに関しては真摯に受け止め、全事業所において接遇や意思決定支援の質を底上げすべく改善に努めるとともに、今後も全社を挙げて品質向上に力を注いでまいります。

事業所一覧 (2026年10月時点)

※各エリア五十音順

北海道

■訪問看護ステーション
琴似
豊平

北陸

■富山県
■訪問看護ステーション
射水
高岡
富山
富山北

■石川県
■訪問看護ステーション
金沢西

関西

■大阪府
■訪問看護ステーション
堺中央
堺中央分室堺北

■奈良県
■訪問看護ステーション
橿原
香芝

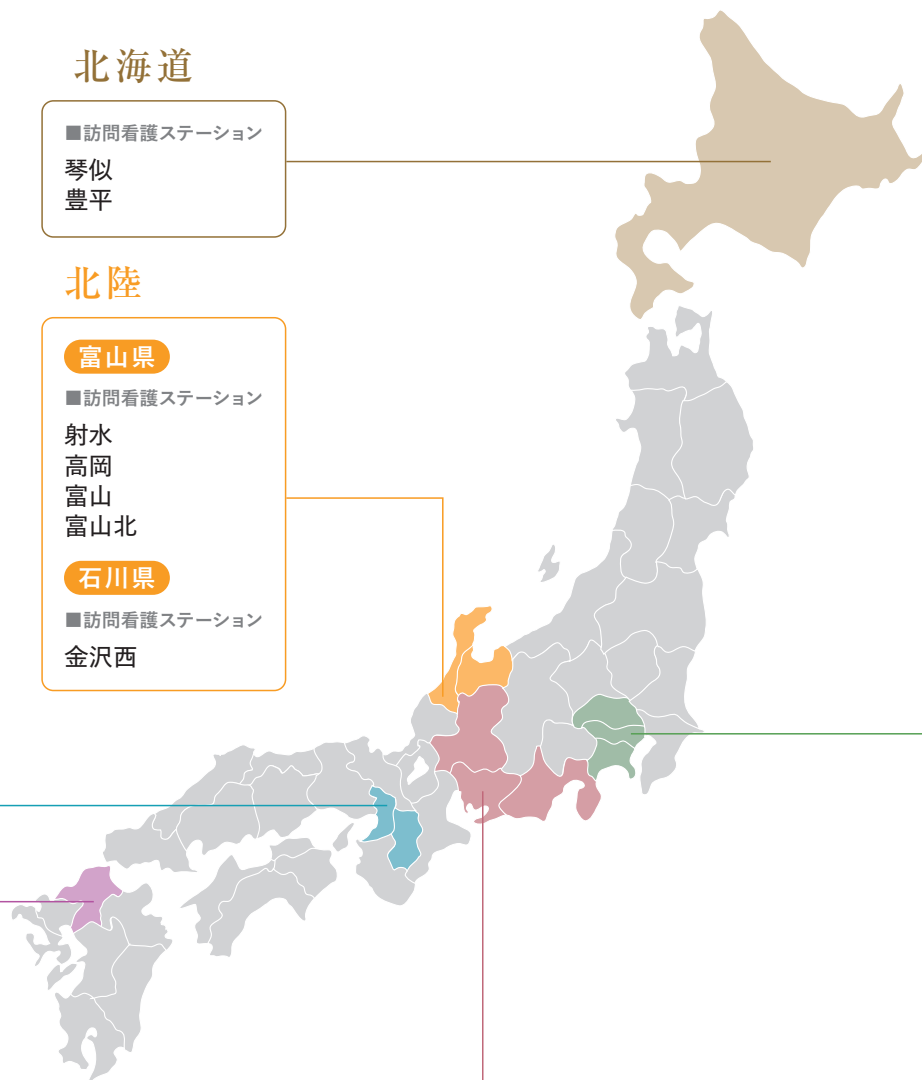
九州

■福岡県
■訪問看護ステーション
大野城
小倉
博多

福岡中央
福岡西
福岡東

福岡南
八幡西
八幡東

■居宅介護支援事業所
福岡中央



関東

東京都

■訪問看護ステーション ※エリアごとの五十音順

青物横丁 池上 大鳥居 大森町 小山 小山分室不動前 山王 白金高輪 西馬込 矢口 雪谷 豊町 経堂 自由が丘 成城 代田 千歳船橋 等々力 二子玉川	三宿・三茶 用賀 芦花公園 学大 駒場 代官山 東が丘 緑が丘 入谷 東日本橋 東向島 阿佐ヶ谷 永福 下井草 中野新橋 西荻窪 野方 大泉学園 小金井	国分寺 小竹向原 調布 つつじヶ丘 光が丘 府中 三鷹 ■居宅介護支援事業所 学大 千歳船橋 二子玉川 府中 三鷹 緑が丘 矢口 雪谷
---	--	--

神奈川県

■訪問看護ステーション

青葉台 麻生 伊勢原 小田原 鹿島田	新横浜 センター北 秦野 日吉 本厚木	溝口 宮前 武蔵小杉 元住吉
--------------------------------	---------------------------------	-------------------------

■居宅介護支援事業所

武蔵小杉

埼玉県

■訪問看護ステーション

朝霞
大宮
東川口
南浦和

東海

愛知県

■訪問看護ステーション

一宮 岡崎北 岡崎南	千種 天白 中川	瑞穂 緑 名西	名東 名北 守山
------------------	----------------	---------------	----------------

静岡県

■訪問看護ステーション

浜松中央
浜松中央分室浜松西

岐阜県

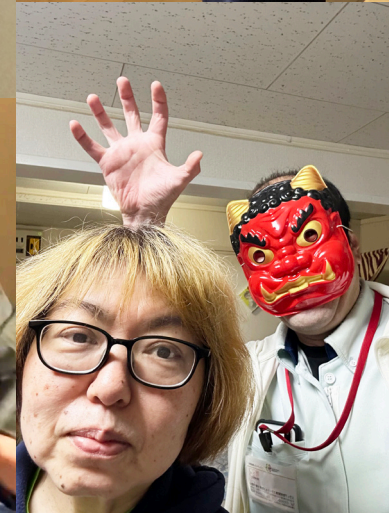
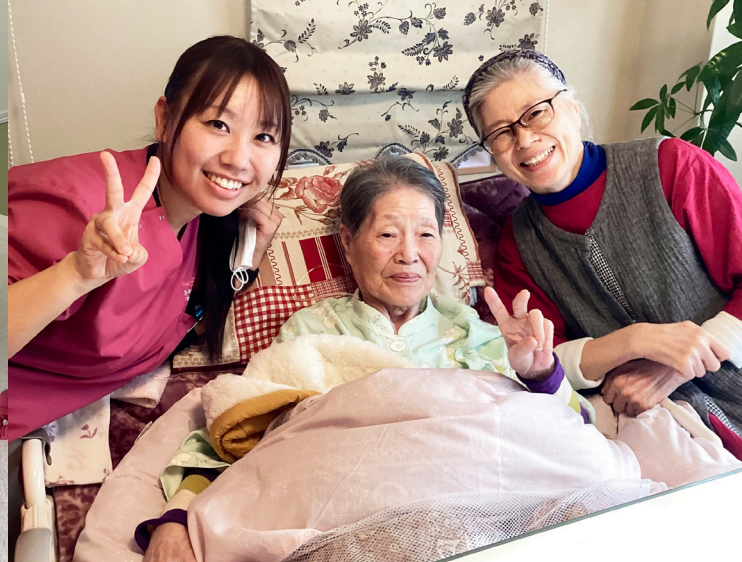
■訪問看護ステーション

大垣
大垣北
各務原

岐阜
岐阜南

■居宅介護支援事業所

大垣



ソフィアメディ 活動レポート 2026



ソフィアメディ
公式HP



お問い合わせ
ご相談はこちら

2026年10月発行

ソフィアメディ株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワー N

■ 報告対象期間 2025年4月～2026年3月

■ 制作協力 デザイン/studio GIVE

■ 注意事項 本レポートは、当社の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社グループの発行する株式及びその他有価証券の勧誘を構成するものではありません。本レポートでは過去と現在の事実のみならず、将来の見通しに関する記述が含まれています。そのため、一定のリスクや不確実性を内包しており、過度に依拠することのないようご注意ください。本レポートには、当社が事業を行っている市場に関する情報を含む、外部の情報源に由来し又はそれに基づく情報が記述されています。これらの記述は、本資料に引用されている外部の情報源から得られた統計又はその他の情報に基づいており、それらの情報について当社は独自に検証を行っており、その正確性又は完全性を保証することはできません。当社は、本レポートに含まれるいかなる情報についても、今後生じる事象に基づき更新や改訂の義務を負うものではありません。